

○地方創生推進交付金事業実績報告（広域連携分・市独自分）**事業名**

「筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める自立・広域的産業クラスターの形成」（5か年事業）

事業について

筑後川上流域に位置する日田市、うきは市の共通の地域資源である、森林空間と森林資源の特色を活かし、第1次産業から第3次産業に至る関連産業による新たな産業クラスターの形成を目指し、日田市、うきは市が連携して林業関連事業に取り組むものです。（平成28年度は5年間の事業計画の1年目）

KPIについて

KPIのうち、木材・木製品出荷額（家具を除く）については、平成28年工業統計調査において現在集計中であり、平成30年2月頃に結果が公表される予定となっています。新規林業就業者は目標値23人に対し、21人（達成率91.3%）の実績となっています。また、新商品の開発についてはH29年度からの目標値を設定しています。

効果について

日田市の新規林業就業者数は、平成27年度は15名、平成28年度は12人、累計数でのKPI達成度は61.36%と芳しくありませんでした。管内の有効求人倍率は1.16と高いものの、林内作業等のきつく危険な労働作業を避ける求職者が多いと推察されるため、その対応が必要です。加えて、もっと多くの人に林業を身近に感じてもらうことが必要と考え、今回この交付金を活用し、そのきっかけを作るために、市役所総合案内窓口の木質化により木の香るまちづくりの具体的事例をつくるとともに、講演会の開催により「木育」の周知を行う取り組みがなされたことから、4段階評価のうち、下から2番目の「③地方創生に効果があった」ものと考えています。

事業名

「ジビエでつなぐ森とまち「ひたジビエ」ブランド化事業」（3か年事業）

事業について

野生鳥獣による農林産物被害の軽減を目的として捕獲対策を推進するとともに、その結果得られる野生鳥獣肉の商品化と戦略的な販売体制を構築することで、獣肉の地域特産品としての認知度の向上と安定的な収入の確保を図り、獣肉処理施設の経営の安定化と雇用の創出、地域経済の浮揚を図るものです。（平成28年度は3年間の事業計画の1年目）

KPIについて

KPIはイノシシ・シカによる農林産物被害額、獣肉販売数量を掲げており、農林産物被害額については目標を達成していますが、獣肉販売数量は目標値の9割の達成率でした。

効果について

KPIの数値目標はほぼ達成しており、ジビエ料理の商品開発や市内飲食店、宿泊施設を対象とした試食会の開催など、ひたジビエの認知度向上を図る取組等は実施できたものの、平成28年度の獣肉処理頭数は102頭とここ数年と大差ない状況であり、この事業の目的である安定的な収入の確保や施設の経営の安定化にはまだ繋がっていないことから、「②地方創生に相当程度効果があった」ではなく、「③地方創生に効果があった」ものと考えています。